

ポストLEDフォトンクス研究所
医光融合研究部門主催講演会

オルガノイドが切り拓く 腸内細菌学

佐々木 伸雄 特任助教 慶應義塾大学医学部消化器内科

共催

徳島大学重点研究クラスター

難病の克服を目指した免疫学研究の拠点形成
[代表:安友康二]

令和元年

日時

9月10日 [火曜]

17:00~18:30

場所

藤井節郎記念
医科学センター
(1Fホール)

幹細胞などを分化させてin vitroの臓器を作製するオルガノイド培養技術は2010年頃から急速に発展し、2013年には「最大の科学的進歩の一つ」と称されました。佐々木先生は腸管オルガノイドの世界的権威であるHans Clevers博士のもとで研究され、世界最先端のオルガノイド培養技術を日本に持ち帰り、腸管オルガノイドを用いた腸内細菌の研究を推進されています。本講演では佐々木先生の最先端研究の成果の一部をご紹介します。

本セミナーは大学院医科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部の大学院特別講義ならびに、重点研究クラスターセミナー、クラスターコアセミナー（感染・免疫クラスター）を兼ねています。

連絡先

医光融合研究部門 内線 2282